

日本学術会議 地域研究委員会（第26期・第6回）

議事要旨

日時： 2025年10月28日（火）12:15～13:05

場所： 日本学術会議5-A（2）会議室＋オンライン

出席者：小長谷有紀（委員長）、矢野桂司（副委員長）、宇山智彦（幹事）、三尾裕子（幹事）、伊藤泰信、小口高、中澤高志、吉澤誠一郎（以上現地）、高橋裕子（オンライン）

欠席者：竹沢泰子

議事：

1. 地域研究委員会各分科会による意思の表出の進捗状況について

発出を予定している以下の見解・報告の作成状況について各分科会から報告し、査読者またはその候補を決定した。

見解「ESD 充実のための地理教育における小学校・中学校・高等学校までの一貫カリキュラムに向けて（仮）」（地球惑星科学委員会と合同の地理教育・ESD 分科会）

見解「人文・社会科学におけるオープンサイエンスを踏まえた質的研究のためのデータ基盤の形成（仮）」（言語・文学委員会、哲学委員会、心理学・教育学委員会、社会学委員会、史学委員会、法学委員会、経営学委員会、情報学委員会と合同のデジタル時代における新しい人文・社会科学に関する分科会）

報告「縮小社会を前提とした持続可能な国土・地域を構想するために（仮）」（縮小社会の地域構想分科会）

報告「不安定化する世界における地域研究の社会連携体制の構築：現状と課題（仮）」（地域研究社会連携分科会）

見解「地名問題の総合的解決に向けてー地名問題の共有化・データベース化・国際連携の三位一体アプローチー（仮）」（地域情報分科会）

2. 27期の会員と連携会員の選出について

総会と第一部会で提示・検討された選出方法・日程を確認し、次期会員の推薦の手順と、次期開始時には見送られる見込みの連携会員の選出のあり方について話し合った。

3. その他 今後の活動について

新法人としての日本学術会議における計画・予算・分科会・意思の表出のあり方などについて意見交換した。

以上